

受付番号： 2019-1-579

課題名：日本人医学生と留学生におけるうつ傾向とその関連要因に関する研究

1. 研究の対象

- (1) 東北大学医学部医学科第2～6学年の学生
- (2) 20歳以上の東北大学に在学中の留学生

2. 研究期間

2019年12月～2020年12月

3. 研究目的

今回の研究では、日本人医学生と留学生を対象として、うつ傾向とその関連要因について調べることを目的としています。また、日本は先進国の中でも若い世代の自殺が非常に深刻な国であり、それは日本人特有の生活習慣や国民性が関係していると思われるので、本研究ではそうした日本人の特徴を明らかにするため、比較対象として留学生についても調査を行います。取得した情報を分析することによって、(1)生活習慣とうつ傾向の関連を明らかにする (2)上記の関連が日本人と留学生で異なるかを明らかにすることを目的としています。

4. 研究方法

本研究では、質問紙を用いてうつ傾向とその関連要因について調査します。質問紙にはうつ傾向や運動、睡眠、学習といった生活習慣に関する質問が含まれます。質問紙はGoogleフォームまたは紙の形式で配布し、回答していただき次第提出していただきます。GoogleフォームのURLは以下に記載された通りです。アンケートは無記名です。
URL: <https://forms.gle/LAhkCYKj3jRP1n1B9>

5. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、うつ傾向、運動習慣、睡眠習慣等の情報

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織

本学単独研究

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

連絡先：三輪達志 E-mail:satoshi.miwa.s2@dc.tohoku.ac.jp

研究責任者：東北大学大学院医工学研究科健康維持増進医工学分野 永富良一

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合